

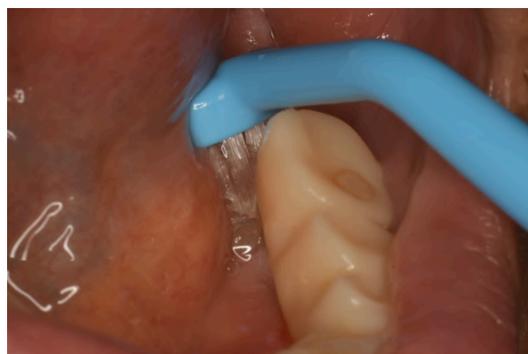
# ハイリスク部位のプラークコントロールをどう支えるか — 歯科衛生士の臨床から見たTePeユニバーサルケア

つきやま歯科医院 専門医療クリニック天神  
(福岡県福岡市)  
歯科衛生士 **矢野 貴子**



インプラント・歯周病・補綴専門医と連携しながら臨床に携わる中で、オールオン4の補綴周囲、歯周外科後のコントロールが難しい部位、最後臼歯遠心部は、形態的・生物学的にバイオフィルムが停滞しやすく、炎症の再燃が起こりやすい代表的なハイリスク部位だと感じています。

TePeユニバーサルケアは、**清掃難易度が高く、炎症リスクが集中しやすい部位のプラークコントロールにおいて有効性を実感している歯ブラシ**です。小型ヘッドとテーパー状の細い毛先により、限局した部位へ毛先をコントロールしやすい設計です。過度なブラッシング圧を必要とせず、狙った部位に的確に毛先を当てやすい点は、歯周外科後の治癒過程において重要な**「組織への侵襲を最小限にしながらプラーク量を減少させる」**という条件を満たしやすいと感じています。



補綴治療：つきやま歯科医院 専門医療クリニック天神（福岡県福岡市）米国補綴専門医 木戸淳太  
オールオン4補綴周囲におけるハイリスク部位清掃

また、**最後臼歯遠心部**のようにアクセスが悪く、セルフケアの再現性が低下しやすい部位においても操作性に優れ、長期的なプラークコントロールの安定につながります。

患者さんには「**炎症を起こしやすい部位を集中的に守るための歯ブラシです**」と説明しており、TePeユニバーサルケアはハイリスク部位管理にOHIとして組み込む価値の**高い一本**だと考えています。



最後臼歯遠心部に対する  
アプローチ